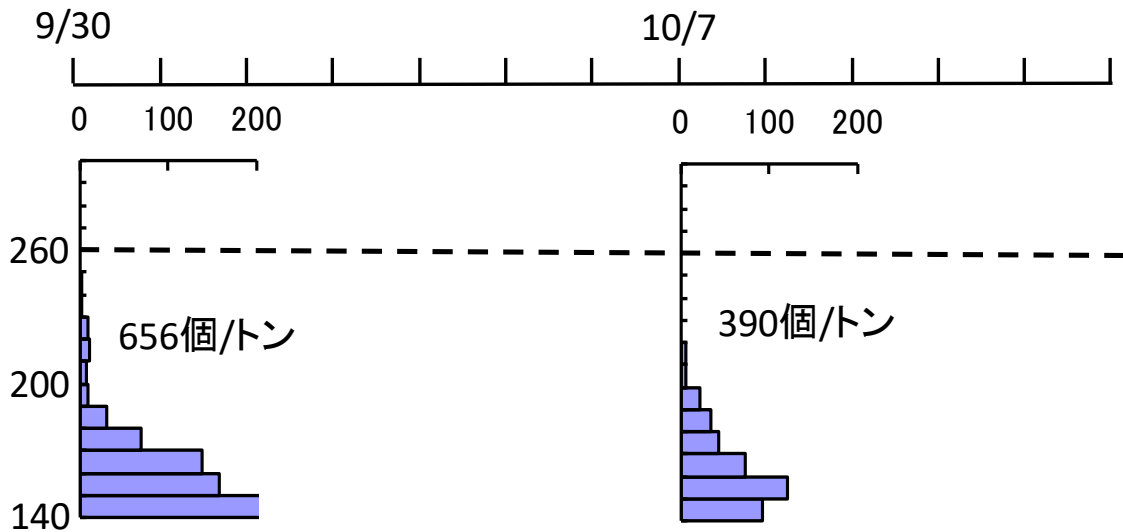


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

10月7日にサロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

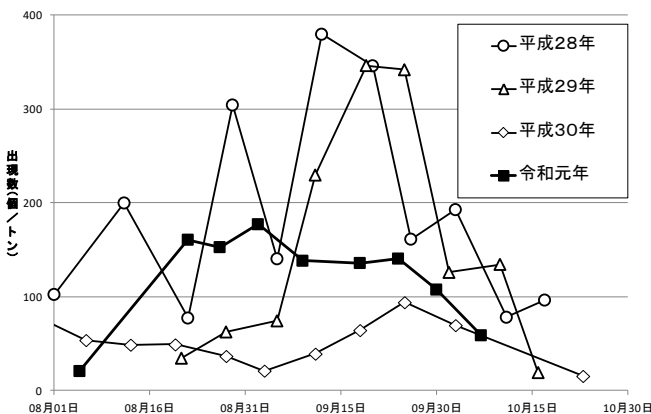
その結果、イガイ（シュリガイ）ラーバは140～170ミクロンを中心に平均で390個/トン出現していました。前回（656個/トン）よりも減少し、200ミクロン以上の大型個体はほぼ見られませんでした。

イガイラーバの殻長組成変化



ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは平均で59個/トン出現しており前回（108個/トン）よりも減少していました。

ホヤ類の出現状況



付着物ラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	18.1	8.4	316.4	23.1	91.5
150 ~ 160	11.3	16.8	335.6	115.5	119.8
160 ~ 170	24.9	25.2	191.8	46.2	72.0
170 ~ 180	38.5	16.8	76.7	34.6	41.7
180 ~ 190	15.8	0.0	47.9	69.3	33.3
190 ~ 200	9.1	2.8	47.9	23.1	20.7
200 ~ 210	9.1	2.8	9.6	0.0	5.4
210 ~ 220	0.0	0.0	9.6	11.5	5.3
220 ~ 230	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
230 ~ 240	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
240 ~ 250	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
250 ~ 260	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
260 ~ 270	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
270 ~ 280	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	126.8	72.8	1,035.6	323.4	389.6
200μ m以上	9.1	2.8	19.2	11.5	10.6
	7.1%	3.8%	1.9%	3.6%	2.7%
260μ m以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ホヤ類	10.2	49.0	94.4	82.3	59.0

付着物ラーバ関連調査地点図

